

御喜楽貫々

一 雨が降ろうが 槍が降ろうが 粹に感ぜや 御喜楽貫々

汗もあつても汗もあつても 全部全部ひとりじめ
すこぶる好きのとらつくよさこい
よいやさ よいやさ よいやさのさのさ

頭の上には空しかないがふいつと気付けば
はりまや辺りの柳の下で同じ血潮が分かちふれ合う
だからやっぱりちよつとだけあげよう

土佐は良い国 南をうけて 薩摩おろしが そよそよと

意地を通さば 貫き通さば 無理を通さば 道理が引つ込む
朱夏に×ロ×ロ骨抜きクラゲ しらを切るからのつびきならぬ

よいさ ほしいさ×8
よいさ ほしいさ×16

二 さだち雷 花も嵐も 舞えば極楽 御喜楽貫々

愉快笑うも 愉快笑うも 全部全部ひとりじめ
無類の筋金とらつくよさこい
よいやさ よいやさ よいやさのさのさ

鼻緒の先にはゆくしかないが羽を休めれば
鯨の船の浦戸の沖で似た潮がわかちふれ合う
つまるところはちよつとだけあげよう

ゆうたちいかんちや おらんくの池にや 潮吹くさかなが泳ぎよる

意地を通さば 貫き通さば 無理を通さば 道理が引つ込む
朱夏にくらくら骨抜きクラゲ 緑もけぶる晩にちつくと

よいさ ほしいさ×8
よいさ ほしいさ×16